

<現況>

- 10月中旬以降、以下のとおり感染拡大傾向にある。
 - (1) 10月21日からの3週間で新規陽性者が1.7倍に増加 (11/4~11/10の1週間で1,014人確認)
 - (2) 新規陽性者に占める感染経路不明者の割合が5~6割を推移。
 - (3) 夜の街の関係者・滞在者や家庭内、企業事業所等、旅行参加者など、様々な場面で感染が疑われる事例が発生。
 - (4) 高齢者施設、医療機関、児童施設・学校、企業事業所、旅行でクラスターが発生。
- 感染拡大傾向が続いた場合には、今後、病床の逼迫リスクが想定され、医療提供体制に影響。
※重症者が増加傾向 (重症者数 11/4 : 37人 (重症病床使用率18.0%) →11/10 : 58人 (同 28.2%))



<今後の取組み>

- 飲食、家庭、職場、旅行や外出等いずれの場面でも、マスク着用、換気の徹底、身体的距離の確保等を徹底
※感染リスクが高まる「5つの場面」(10/23国の分科会提言)
 - 「飲酒を伴う懇親会等」「大人数や長時間におよぶ飲食」「マスクなしでの会話」「狭い空間での共同生活」
 - 「居場所の切り替わり」
- 大阪市内の歓楽街における、事業者との連携等による感染拡大防止に向けた取組みの検討
- 高齢者施設・医療機関等への啓発の徹底と、施設等職員が迅速に検査を受診できる取組みの検討